

日本機械学会 M&M2016 材料力学カンファレンスへの出席ならびに論文発表

2016年10月8日(日)～10日(月)にかけて神戸大学で開催された標記 材料力学カンファレンスに出席いたしましたので報告いたします。

2016年10月8日(日)



供用エネルギーおよび化学プラント機器の経年劣化と健全性評価の OS にて石垣君 (M1) が発表しました。タイトルは「火山灰堆積した Ni 基超合金 IN738LC の高温腐食特性」でした。多くの質問、コメントを頂きました。



引き続き、午後より GS 疲労にて安田君 (M2) が「低温下での氷の付着強度に関する研究」と題して発表しました。発表態度も良く、また質疑応答に対して適切に対応できました。



夕方、本日の講演会が終了し、最寄りの駅「阪急 六甲」まで戻りました。



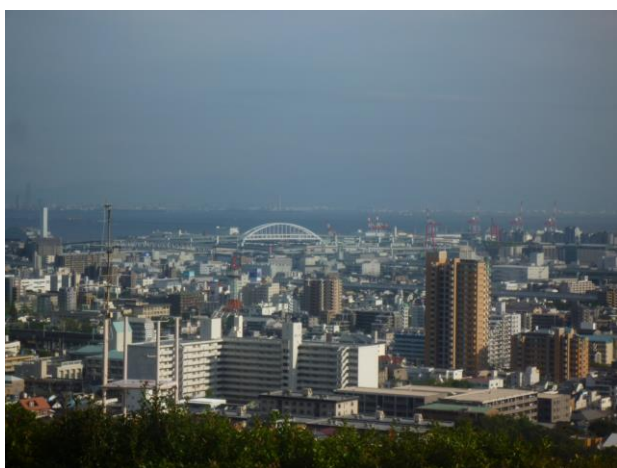
初日の発表。皆さんお疲れさまでした！



2016年10月9日(日)



本日は吉田君(M1)が発表. OS「材料の疲労挙動と損傷評価」にて「円孔によって乱された応力場を進展する疲労き裂の経路予測に関する研究」と題して発表しました. 質問に対して適切に対応することができましたね.



午後から特別講演. 神戸大学医学部の先生が医工連携に基づいた肝がんの治療に関する総括的な説明がありました. その後, 懇親会.

2016年10月10日(月)



最終日は OS「薄膜・コーティングおよびそのシステムの各種特性と損傷」にてはじめに落合君(M2)が「調和振動加熱を受ける多孔質セラミックコーティングの熱伝導特性に関する研究」, 引き続き小野君 (M2) が「調和振動加熱を受ける多孔質コーティングの熱応力解析」と題して研究報告いたしました。

皆さん, ご苦勞様でした。(荒井より)